

「トライアスロン大会のコースは、6市町村に渡る広範囲。その全域をカバーできる救護体制をつくらなければなりません。」

しかも、諏訪湖を2km泳ぎ、八ヶ岳山麓をバイクで80km駆け抜け、ヘトヘトになってさらに諏訪湖周を20km走る。

鍛えているとはいえ選手の体への負担は凄まじく、そのリスクは図り知れないのです。

さらにコース全域に、一〇〇名ものボランティアスタッフも散らばっている。

これほど大きな大会の救護体制をつくりあげるのがいかに大変か……。正直、誰もやりたがりません(笑)」

スワコエイトピークストライアスロン大会
メディカルチームのリーダーをつとめる
今井智彦医師(岡谷市)はそう語る。

「救急救護の現場は、予測できないことの連続です。しかも今回は、全くはじめてのトライアスロン大会。何か起きてしまった現場で何が必要か、即座に判断し、チームで情報を共有してベストな対応を行う。」

その、指揮命令系統の確立が最も重要なんです。」

また、コロナウイルスの感染状況に

どう対応するかも現在の重要な議題。

保健所の意見を取り入れ、より徹底した

感染対策を検討している。議論すべきことは

尽きず、ミーティングは時に深夜まで及ぶ。

メンバーは6市町村全域の医師会から集められているが、

中心となるドクターは、時に集結する救命救急の

プロ集団である医師7名だ。

「七人の侍みたいですね」

そう言うと、医師は照れ笑いをした。



コース視察



SUWAKO PEAKS

MIDDLE TRIATHLON

Technical support by Epson

スワコエイトピークストライアスロン大会

ご意見・ご感想をお寄せください

公式サイト
お問合せフォームより
24時間受け付けております



選手1,000人の命と、ボランティア1,100人の安全を守る。
地域の皆さまに安心していただける医療救護体制を。

大会に関するお問い合わせ

大会運営事務局

☎0266-58-3609 平日 9:00~17:45
〒392-0012 諏訪市四賀赤沼1540-1 (株)ジェイ・キッズ内)

大会詳細は
公式サイトを
チェック

<https://suwako8peaks.jp>

スワコエイトピークス

公式サイトで『トライアスロン大会の挑戦』バックナンバー公開中!

SUWAKO PEAKS
MIDDLE TRIATHLON
Technical support by Epson

大会オフィシャル
パートナー